

小型家電回収の先進的取り組みの事例

①東京都

②水俣市

携帯電話回収実験と携帯電話リサイクル意識調査の結果概要

都内20か所に設置した回収箱による回収結果

【回収対象】 携帯電話・PHSの端末本体、電池、充電器
 【実験期間】 平成20年10月2日(木)から平成20年11月30日(日)まで



(1) 各回収拠点別の回収台数

携帯電話の端末と充電器を合わせて「約2,000台」回収

- 端末本体の回収台数 1,522台
- 充電器の回収量 527個相当※ (29,690g ※1個当たり重量50gで計算)
- 電池の回収量 1,371個相当※ (30,790g ※1個当たり重量20gで計算)

《端末本体1,522台の拠点別内訳》

特別区域	多摩地域	地下鉄駅
都庁第一本庁舎	立川市 83	都営 日比谷駅 29
都庁第二本庁舎	武蔵野市 247	メトロ 日比谷駅 66
<都庁計>	昭島市 66	都営 東新宿駅 62
荒川区	町田市 52	メトロ 東新宿駅 3
練馬区	福生市 140	都営 飯田橋駅 10
足立区	多摩市 67	メトロ 飯田橋駅 105
<区役所計>	<市役所計> 655	<地下鉄駅計> 275
慶応義塾大学	首都大学東京 9	
早稲田大学	<大学計> 32	

(2) 回収結果の分析

<庁舎、地下鉄駅>

- ・ 1箱に100台以上もの端末本体が投入された拠点が複数あり、既存の携帯電話の販売店での回収台数（1店舗当たり約100台/2か月）に近い台数が集まった。
- ・ 多くのマスコミで取り上げられたことや都及び区市の広報による周知効果があった。
- ・ 一般の人がいつでも行ける場所に回収箱が置かれていたため、協力を得やすかった。

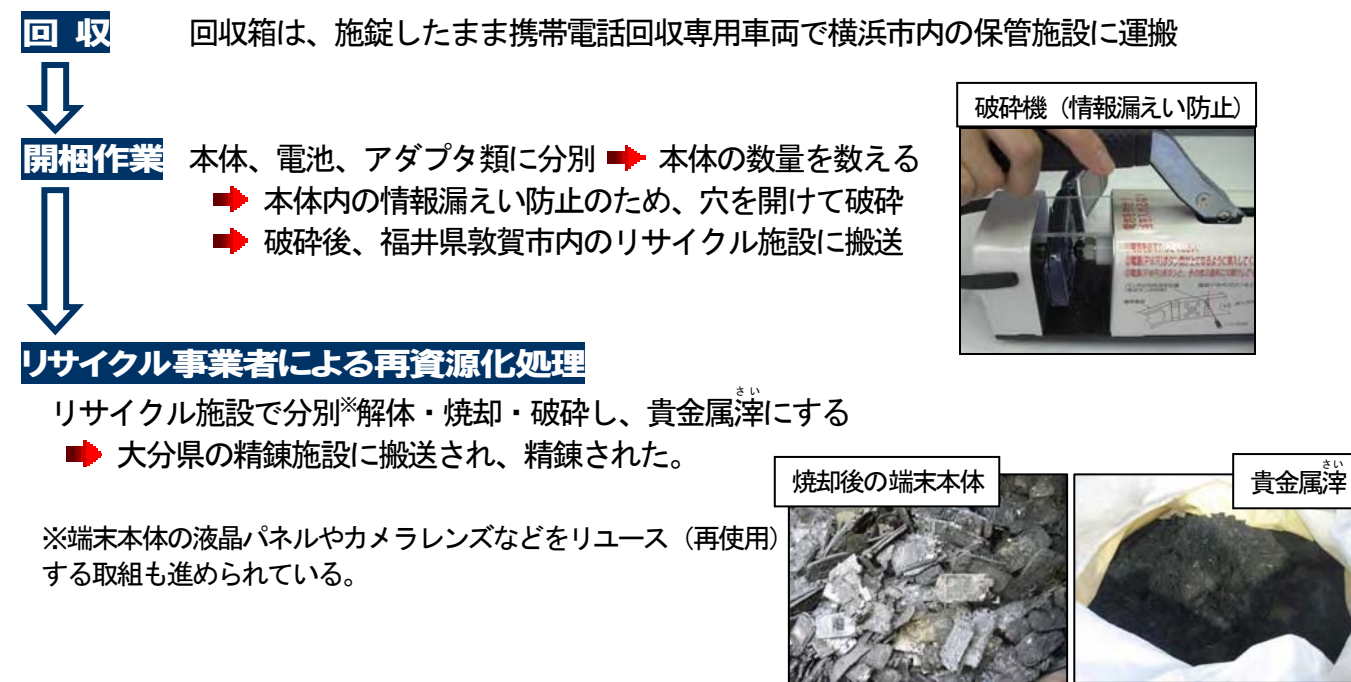


<大学>

・ 回収台数は各大学10台前後と少ない結果となった。その要因として、若い世代の携帯電話への愛着などによる退蔵傾向の強さ、リサイクルの協力に対するインセンティブの期待が大きいことなどが考えられる。



(3) 回収した携帯電話のリサイクルルート



(4) 回収物から回収された資源

今回の実験で回収した端末本体等から回収された資源の推計値は、下表のとおり。

端末本体	金	銀	銅	パラジウム	
	25g	126g	5,053g	12.6g	
充電器	鉄	銀	銅	アルミニウム	プラスチック樹脂
	594g	30g	4,167g	297g	19,299g
電池	アルミニウム	コバルト			
	4,926g	4,311g			

*推計については、(社)電気通信事業者協会及び情報通信ネットワーク産業協会のデータ使用

携帯電話のリサイクルに関する意識調査（アンケート）結果

<アンケート実施概要>

インターネット都政モニターアンケート

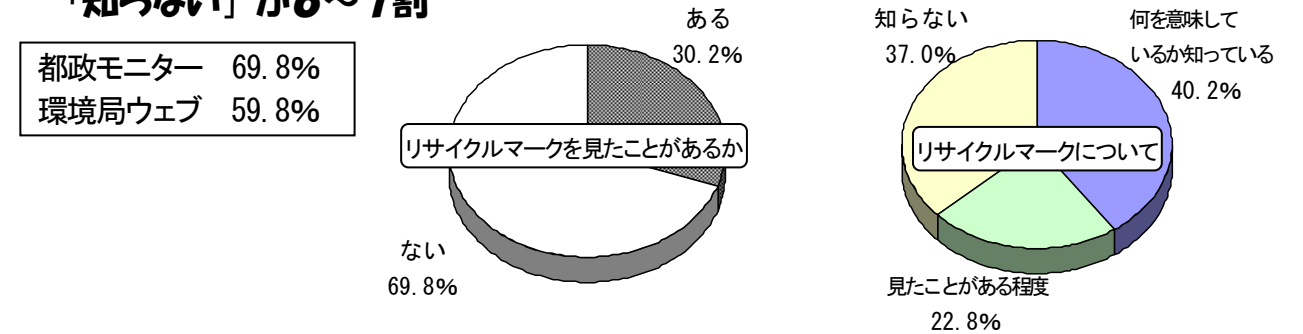
生活文化スポーツ局がインターネット都政モニター500人に「携帯電話の資源リサイクル」をテーマにアンケートを11月7日（金）～13日（木）に実施し、474人の回答（回答率94.8%）が得られた。

環境局ウェブサイトを活用したアンケート

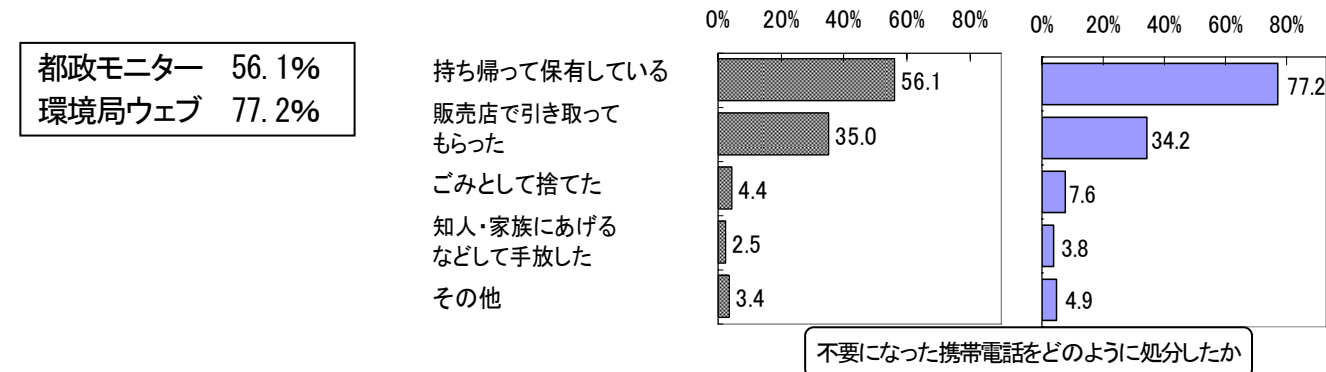
一般の都民向けに、環境局ウェブサイト上でアンケートを実施。携帯電話回収実験と並行して10月2日（木）から2か月間実施し、184人の回答が得られた。

アンケートの結果（主な項目）

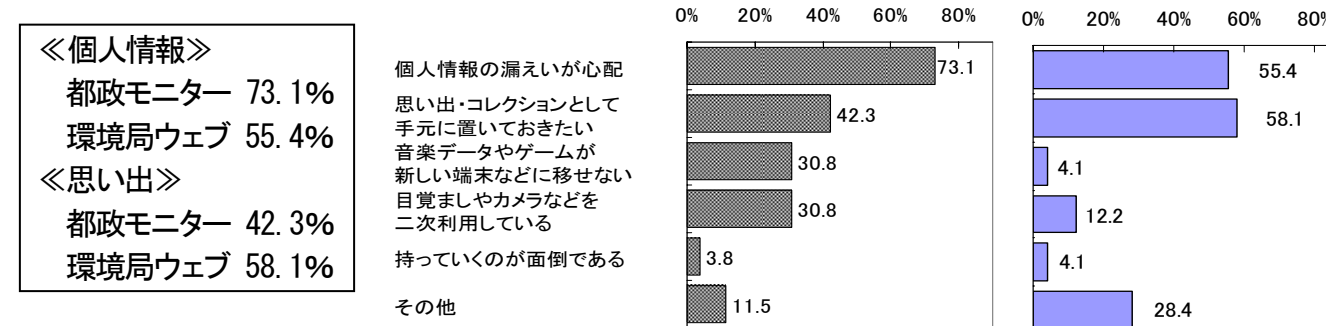
*携帯電話のリサイクルマークやその意味を「知らない」が6～7割



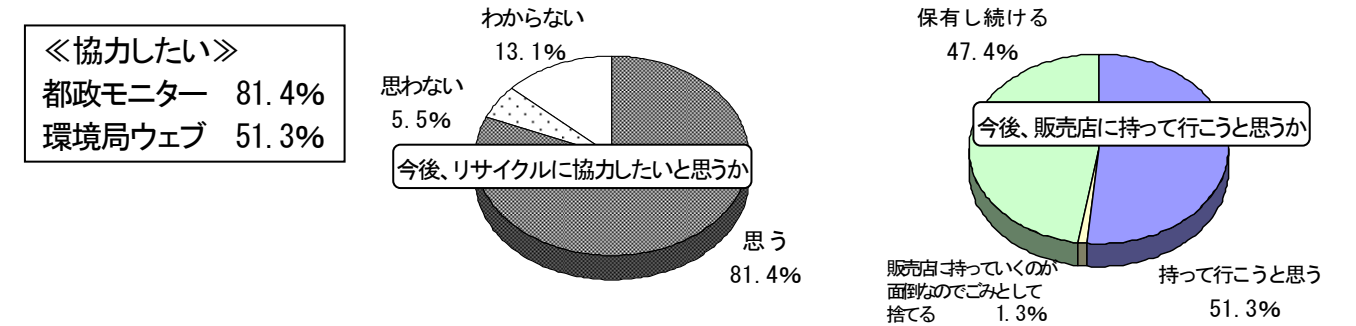
*不要になった携帯電話を持ち続ける傾向が顕著



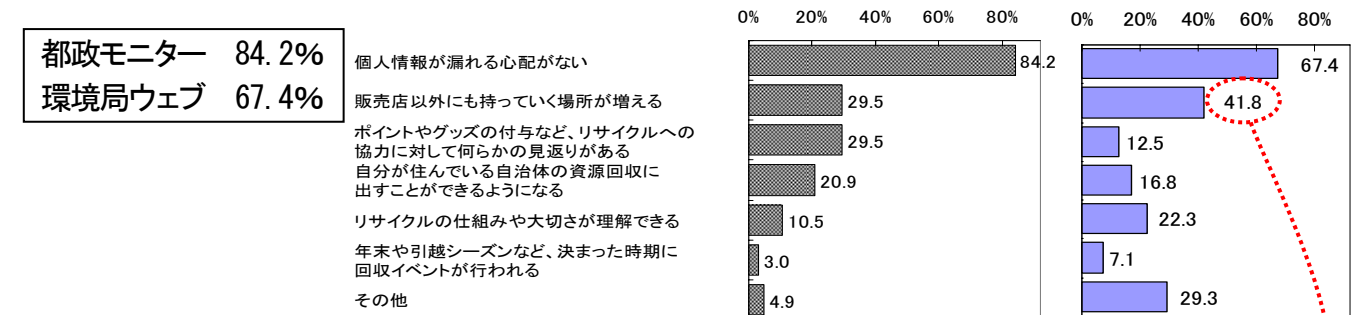
*不要になった携帯電話を持ち続ける理由は、「個人情報の漏えいが心配」「思い出・コレクション」



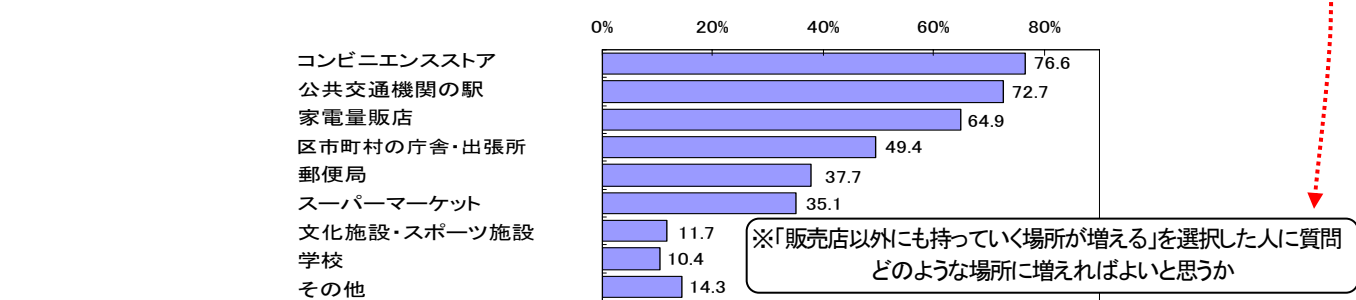
*今後リサイクルに協力したいという意識が都政モニターで8割と高い結果に。環境局ウェブでは「協力したい」と「保有し続ける」が半々



*「個人情報の漏えいの心配がなければリサイクルしたい」と思う人が7～8割



*携帯電話の回収場所の希望として、販売店以外ではコンビニや駅が多い。



アンケート結果の総括

- 2つのアンケートで共通する特徴的な点
 - 「携帯電話のリサイクルの仕組みを知らなかったが、今後はリサイクルに協力したい」という意識をもつ人が多い。
 - リサイクルの動機付けは「個人情報の漏えいに対する不安がないこと」が最も多い。
- 携帯電話のリサイクルの認知度の向上と併せて、個人情報の漏えいに対する不安を取り除くことが、リサイクルの促進のために必要である。
- 販売店以外の携帯電話の回収拠点の拡大についても、リサイクル促進策として期待できる。

携帯電話リサイクルについての今後の検討事項

- 携帯電話の回収促進PR策**
販売店での回収システムについて、事業者によるPRの強化や行政の広報の活用、回収イベントの実施等により、周知徹底を図ることを検討
- 回収拠点の拡大策**
行政の施設提供など回収拠点としての協力を呼びかけ、拠点の拡大を図ることを検討

水俣市における廃小型電子機器類回収試験の状況

1. 取組の内容

水俣市において、平成20年10月にレアメタルリサイクル研究会が立ち上げ。

その活動のもとで平成20年11月から廃小型電子機器類回収試験を開始。

回収試験では、水俣市の環境クリーンセンターにおいて、一般廃棄物から小型家電を選別。その後、分別・分解した後、レアメタル含有量等について調査分析。

2. 参加者

研究会は大学、民間企業(リサイクル関連企業)、行政・関連機関の産学官からなる。

回収試験は水俣市が企画、水俣市環境クリーンセンターにおいて対象機器を選別、家電リサイクル工場において、分別・分解し、熊本大学においてレアメタル含有量等について調査分析。

3. 対象製品

回収試験対象：ミニコンポサイズ以下の小型家電

4. スケジュール

回収試験：平成20年11月～平成21年3月(5ヶ月間)



水俣市 廃小型電子機器類回収試験 中間報告(平成20年11月1日～12月18日)

1. 回収状況

	11月	12月	計	平均
引取り回数	4回	6回	10回	5回
総個数	176個	187個	363個	181.5個
総重量	253.42kg	235.28kg	488.7kg	244.35kg

備考：区回収、個人持込み(直接搬入)による小型家電を対象とする。

2. 水俣市地域別集計(11月1日～12月18日 2ヶ月間)

地域区分	市街地	1区～5区、19～22区(1区はA・Bに分割)
	中間地	6区、7区、8区、17区、18区
	山間地	9区～16区、23区～26区

(1) 市街地

区名	1区A	1区B	2区	3区	4区	5区	19区	20区	21区	22区	計	平均
人口(概数)	3,850人		950人	1,420人	2,320人	1,920人	1,230人	1,280人	2,110人	2,650人	9,765人	1,970人/区
引取り個数	25個		19個		14個	29個				23個	110個	23.78個/区
引取り重量	16.7kg		57.8kg		28.3kg	24.2kg				30.5kg	157.5kg	31.5kg/区
引取り日	12月2日	未回収	12月4日	未回収	12月9日	11月11日	未回収	未回収	未回収	11月27日		

(2) 中間地

区名	6区	7区	8区	17区	18区	計	平均
人口(概数)	1,170人	700人	1,100人	2,320人	1,620人	5,290人	1,382人/区
引取り個数	12個	27個		63個		102個	20.4個/区
引取り重量	12.6kg	32.15kg		64.6kg		109.35kg	27.34kg/区
引取り日	12月11日	11月13日		12月18日	未回収		

(3) 山間地

区名	9区	10区	11区	12区	13区	14区	26区	15区	16区	23区	24区	25区	計	平均
人口(概数)	510人	260人	360人	270人	250人	230人	290人	760人	360人	400人	210人	150人	2,160人	337.5人/区
引取り個数				8個				8個					16個	1.25個/区
引取り重量				27.9kg				18.5kg					46.4kg	7.73kg/区
引取り日	未回収	未回収	未回収	12月16日				11月18日			未回収	未回収	未回収	

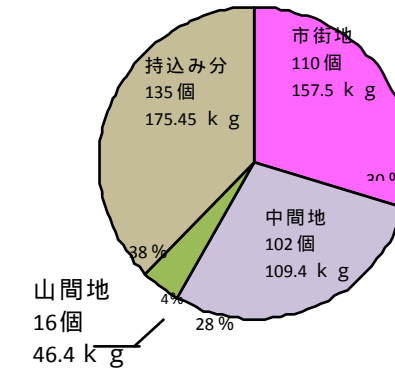
3. 個人持込み分集計(同上)

	11月11日	11月13日	11月18日	11月27日	12月2日	12月4日	12月9日	12月11日	12月16日	12月18日	計
個数	50個	13個	13個	13個	3個	0個	19個	10個	10個	4個	135個
重量	71.15kg	17.12kg	45.8kg	14kg	7.08kg	0kg	7.5kg	6.7kg	1kg	5.1kg	175.45kg

4. 引取り物内訳(個数)

区名	携帯電話	音響機器	ゲーム機・周辺機器	ビデオデッキ、DVDプレイヤー	電話機・FAX	PC周辺機器	その他	計
市街地	4	2	1	2	4	4	8	25
2区	0	3	3	3	0	2	8	19
4区	3	3	2	0	3	1	2	14
5区	3	7	0	0	4	1	14	29
22区	1	3	4	2	5	1	7	23
中間地	1	1	2	0	4	0	4	12
7.8区	0	1	17	5	0	3	1	27
17区	5	15	13	0	10	2	18	63
山間地	0	3	0	1	2	1	1	8
12.13.14.26区								
15.16区	1	4	1	0	2	0	0	8
持込み分	45	20	14	6	14	7	29	135
計	63	62	57	19	48	22	92	363

各エリア & 個人持込み



総個数内訳

